

九州北部地方 3か月予報の解説

(2025年11月～2026年1月)

新しい予測資料をふまえ寒候期の天候について検討しましたが、
9月22日に発表した寒候期予報の内容に、変更はありません。

令和7年10月21日14時発表

福岡管区気象台予報課

3 か月予報のポイントと留意点 (2025年11月～2026年1月)



予報のポイント

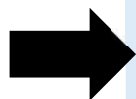
- 期間の**はじめ**を中心に**暖かい空気に覆われやすい**ため、向こう3か月の**気温は平年並か高い**でしょう。
- 期間の**後半**を中心に**低気圧の影響を受けにくい時期がある**ため、向こう3か月の**降水量は平年並か少ない**でしょう。

留意していただきたいこと

- 11月は気温が高く、秋の深まりといった季節進行が遅いでしょう。
- 12月以降は、ほぼ平年の冬となり、秋の終わってから初冬にかけて季節進行が急に進み、**平年よりも気温の下降が大きく感じられる**でしょう。体調管理等に注意してください。また、**冬型の気圧配置が強まる時期もある**見込みです。
- 最新の予報・気象情報等に留意してください。



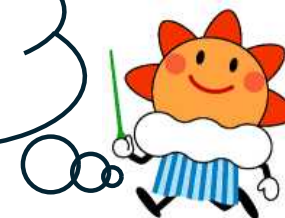
11月



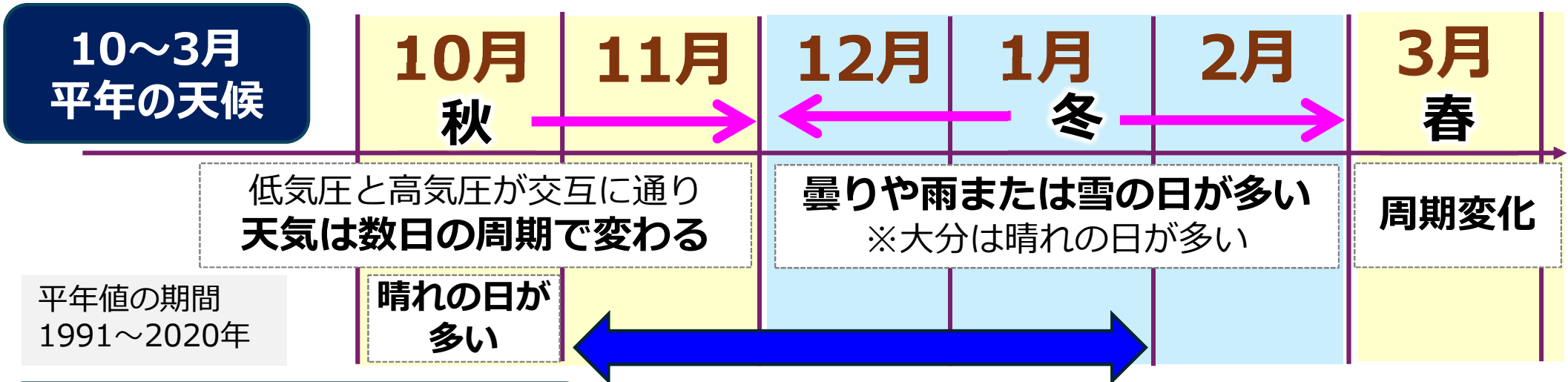
12月
以降



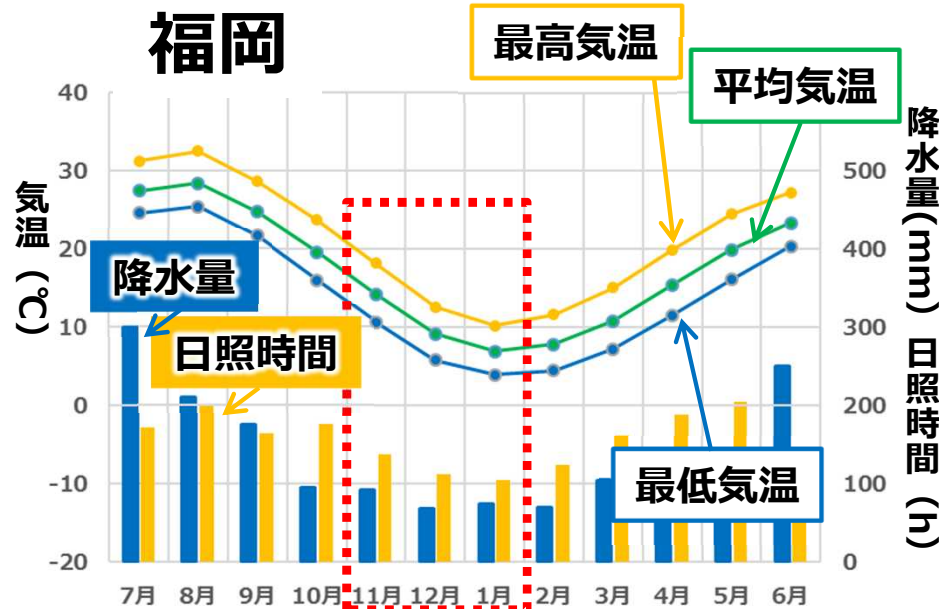
急な寒さ対策等
冬への準備をお願いします。
最新の気象情報等をご利用
ください。



秋～冬の九州北部地方の平年の天候経過



気温・降水量・日照時間の月別の平年値



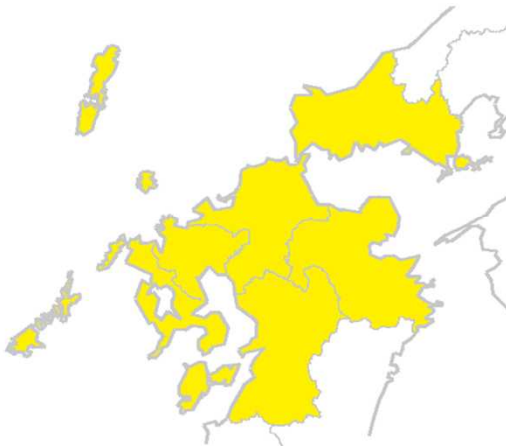
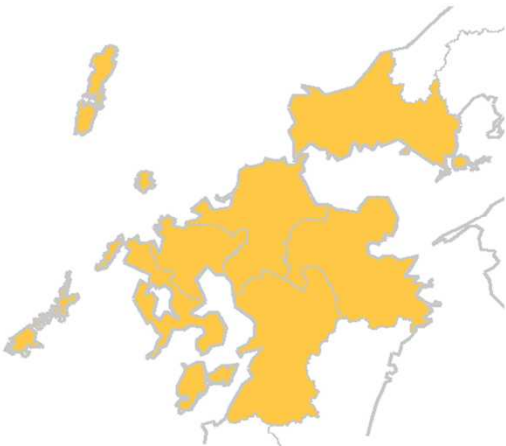
11月～1月の平年の天候のポイント

- 11月は周期変化の天候
- 冬は冬型の気圧配置となりやすく、曇りや雨または雪の日が多いが、降水量は少ない。
- 1月（1月下旬～2月上旬）は最も気温が低い時期にあたる

向こう3か月の天候の見通し（2025年11月～2026年1月）



3か月（11～1月）の平均気温・降水量

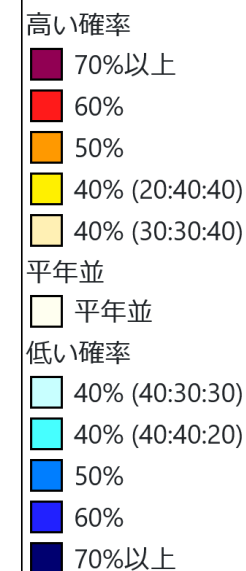
九州北部地方 （山口県を含む）	 平均気温（3か月） 11～1月	 降水量（3か月） 11～1月
	低 20 並 40 高 40 平年並 か 高い 見込み	少 40 並 40 多 20 平年並 か 少ない 見込み
 数値は予想される 出現確率です	 高い確率 70%以上 60% 50% 40% (20:40:40) 40% (30:30:40) 平年並 - 平年並 低い確率 40% (40:30:30) 40% (40:40:20) 50% 60% 70%以上	 多い確率 70%以上 60% 50% 40% (20:40:40) 40% (30:30:40) 平年並 - 平年並 少ない確率 40% (40:30:30) 40% (40:40:20) 50% 60% 70%以上

月別の予報（2025年11月～2026年1月）

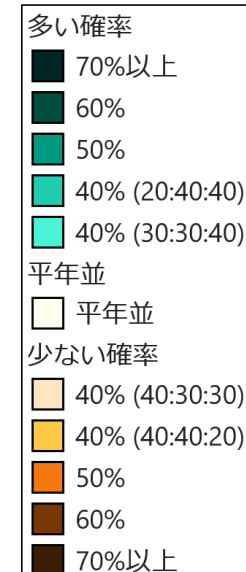


	11 月	12 月	1 月
天候	天気は数日の周期で変わるとでしょう。	低気圧の影響を受けにくいいため、 平年に比べ曇りや雨または雪の日が少ない でしょう。	平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。
気温	低 20 並 30 高 50 高い 見込み	低 40 並 30 高 30 ほぼ平年並 の見込み	低 30 並 40 高 30 ほぼ平年並 の見込み
降水量	少 30 並 30 多 40 ほぼ平年並 の見込み	少 50 並 30 多 20 少ない 見込み	少 40 並 30 多 30 ほぼ平年並 の見込み

凡例 気温



降水量



高温側へ変更
多雨側へ変更
少雨側へ変更

前回予報からの変更点

	11月	12月
気温	低 30 並 30 高 40 ほぼ平年並の見込み	低 40 並 40 高 20 平年並か低い見込み
降水量	少 30 並 40 多 30 ほぼ平年並の見込み	少 40 並 40 多 20 平年並か少ない見込み

11月
高温・多雨

側に変更
南からの暖かく湿った
空気がやや流れ込
む予測に。

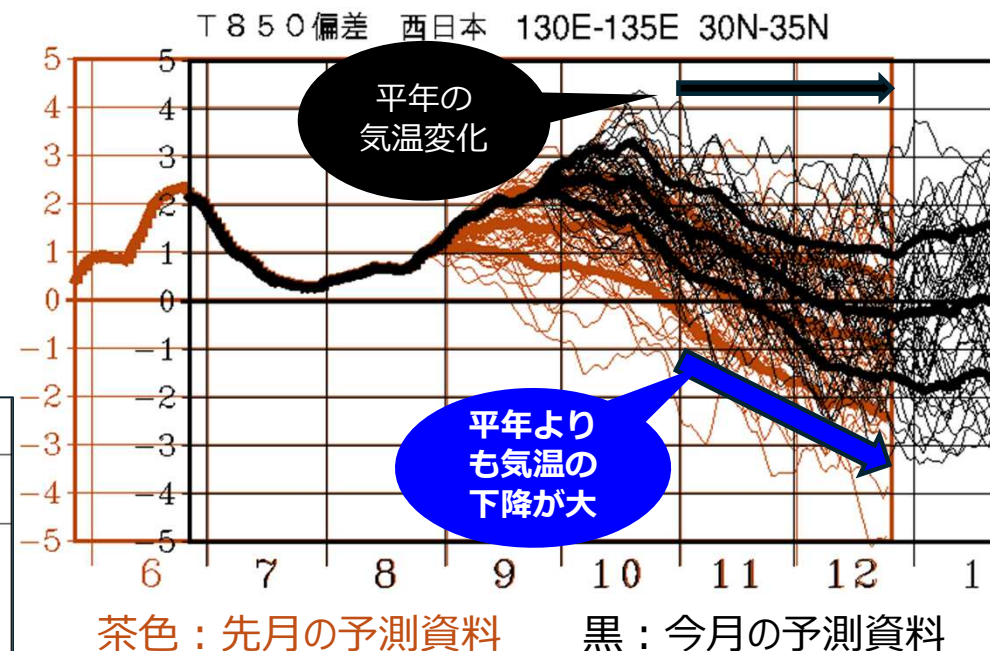
12月
高温・少雨

側に変更
(気温) 11月まで
の暖かい空気の影
響が残り、寒気の影響
を受けにくい予測に。
(降水量) 湿った
空気の影響をやや
受けにくい予測に。

	11月	12月
気温	低 20 並 30 高 50 高い見込み	低 40 並 30 高 30 ほぼ平年並の見込み
降水量	少 30 並 30 多 40 ほぼ平年並の見込み	少 50 並 30 多 20 少ない見込み

先月の資料との比較

西日本の上空1500m付近の気温平年差



先月の予測資料よりも、
1℃弱 高い方にシフト。

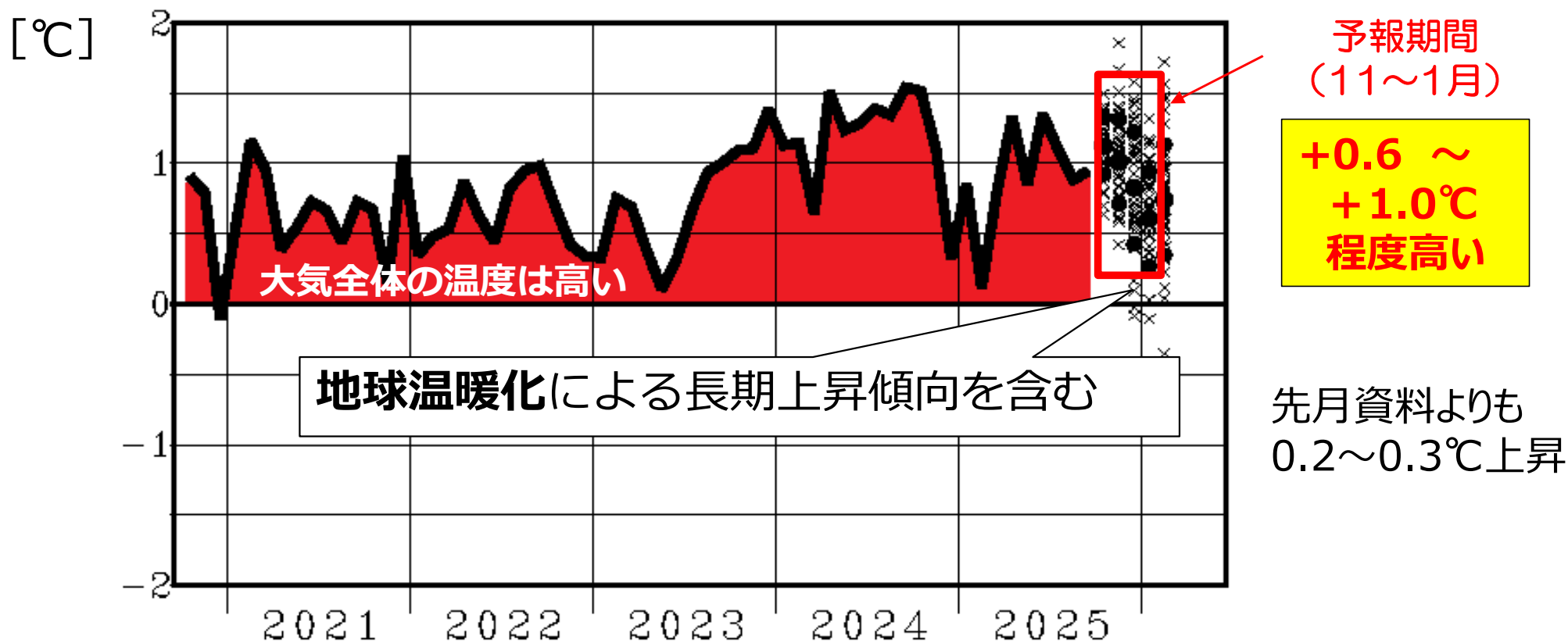
(暖かい空気の影響が、やや残る予想に変わった)

晩秋から初冬への気温の下降が、平年に
比べて大きい(傾きが急) 点は先月資料と
あまり変わっていない。
(急に寒く感じられる)

予報の根拠① 大気全体の気温の予測



大気全体の温度が平年より高く、
北半球中緯度でも高い状態が継続



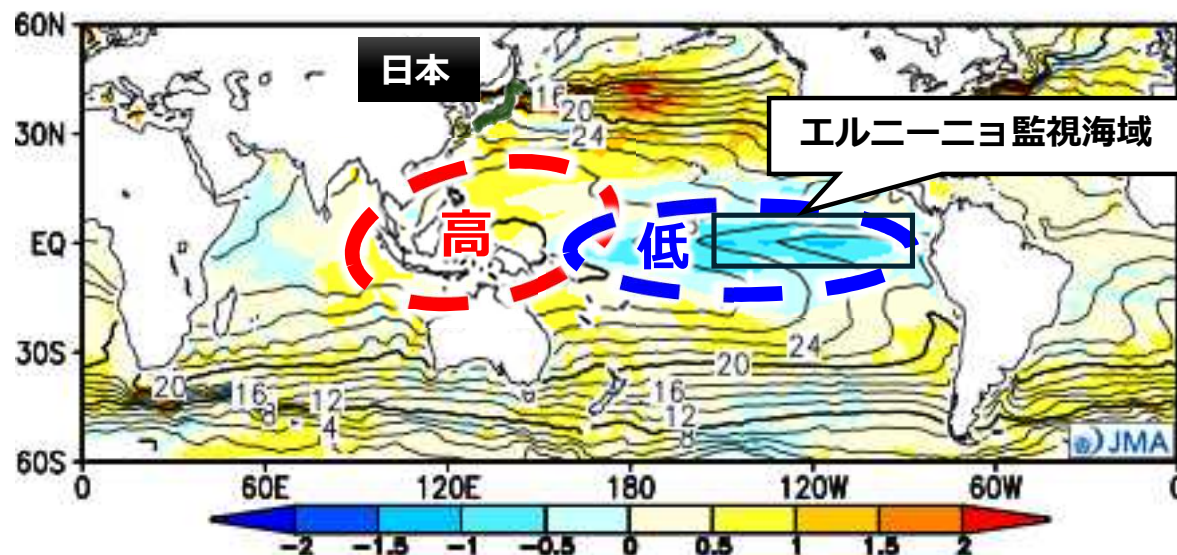
北半球中緯度（北緯30~50度）

対流圏（高さ約1500~10000m）の温度の平年からの差
実線は実況、ボックス部分は数値予報による予測

現在の平年値の期間 1991~2020年

予報の根拠② 海面水温の予測

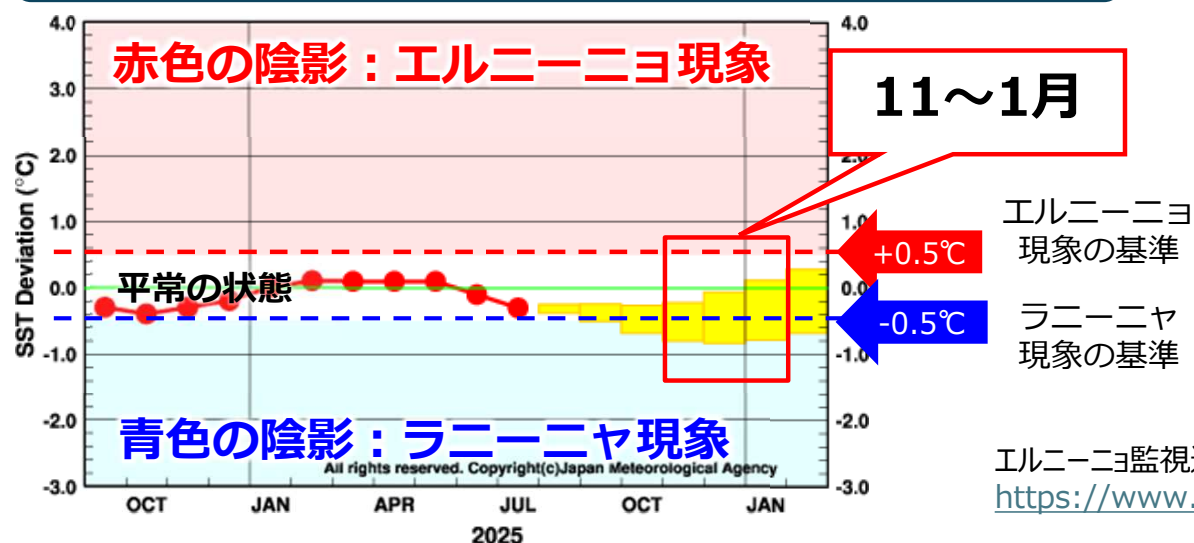
3か月（11～1月）の海面水温（予測）



インド洋東部～フィリピンの東で**高く**、太平洋赤道域の中部から東部で**低い**。

ラニーニャ現象に近い海面水温分布が冬の前半までは続く見込み。

エルニーニョ現象・ラニーニャ現象の見通し

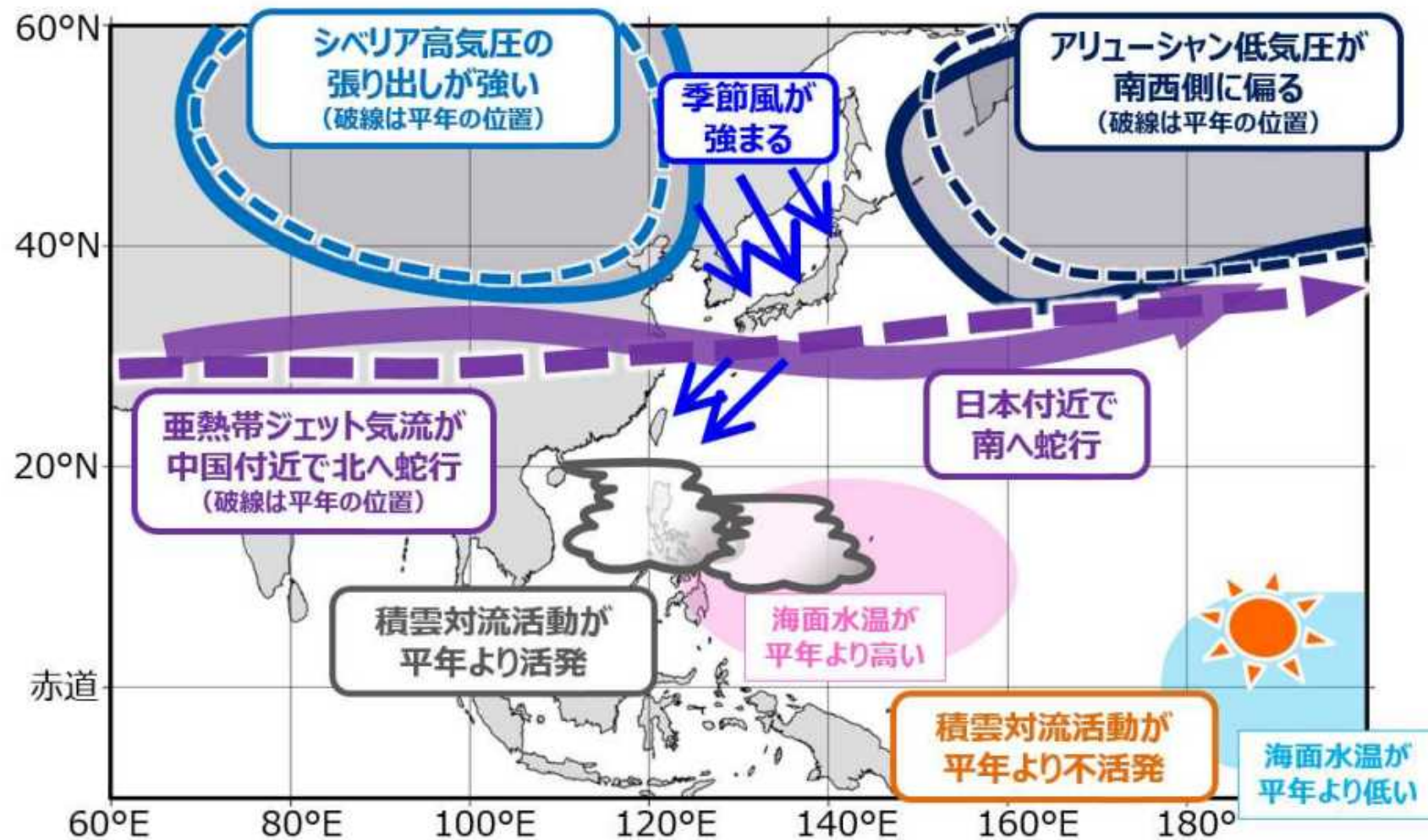


- エルニーニョ現象もラニーニャ現象も発生していない**平常の状態**とみられるが、**ラニーニャ現象に近い状態**となっている。
- 今後、**冬の前半にかけてラニーニャ現象に近い状態**が続く。しかし、その後は急速に解消するため、ラニーニャ現象の発生には至らず、冬にかけて平常の状態が続く可能性が高い（80%）。

エルニーニョ監視速報：

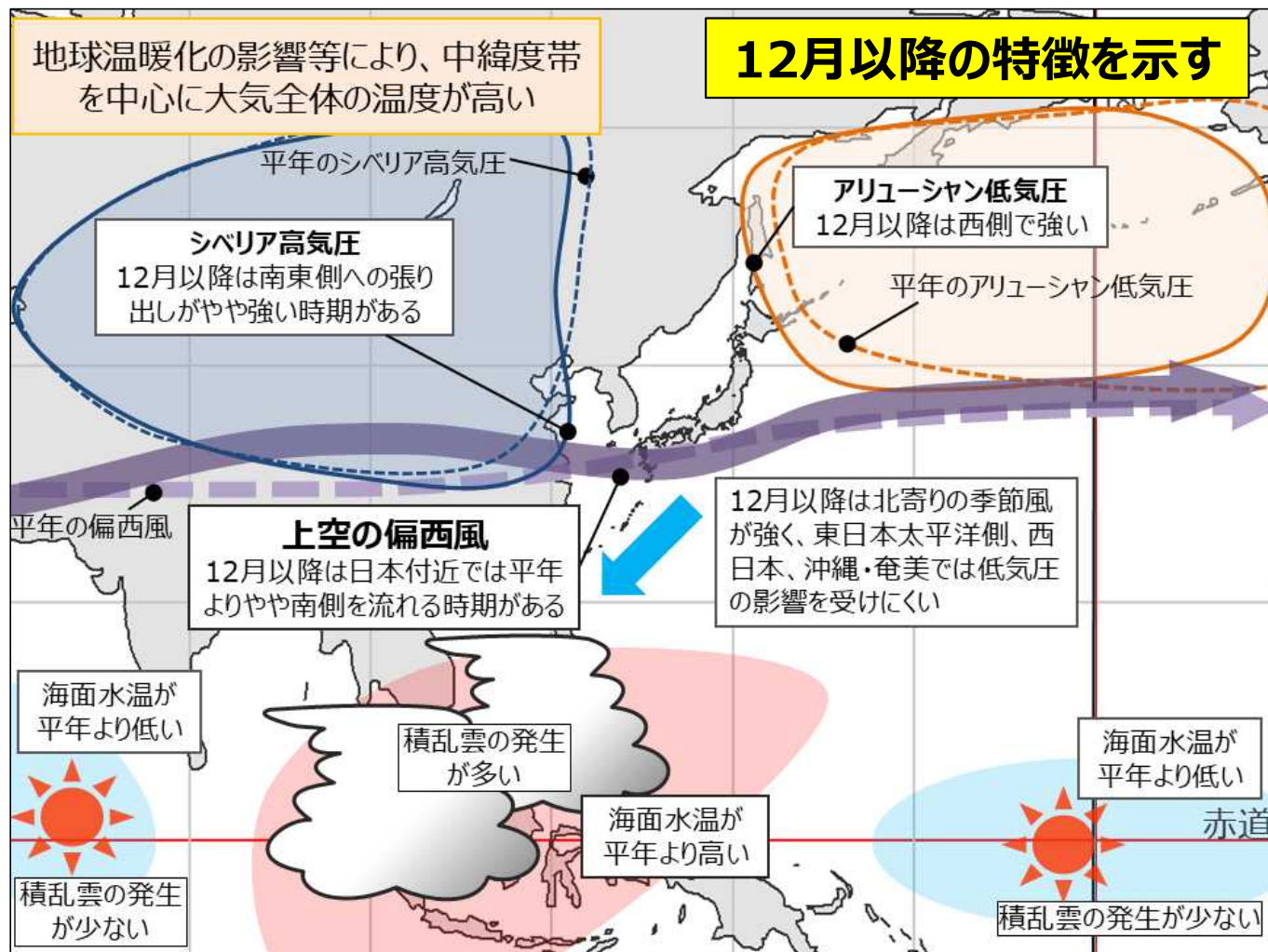
https://www.data.jma.go.jp/cpd/elnino/kanshi_joho/kanshi_joho1.html

ラニーニャ現象時の冬の統計的な特徴（参考）



大陸のシベリア高気圧の張り出しが強い + アリューシャン低気圧が南西側に偏る
⇒ 日本付近は、東西の気圧の傾きが大きくなって、冬型の気圧配置が強まり、
季節風が強まる。

11～1月の予想される海洋と大気の特徴



ポイント

- 地球温暖化の影響等により、中緯度帯を中心に大気の温度が**高い**。
- 上空の偏西風は、ユーラシア大陸では北に蛇行し、12月以降は日本付近で南に蛇行する（平年よりやや南側を流れる時期がある）見込み。

⇒12月以降は、
寒気が流れ込みやすい

- 12月以降、シベリア高気圧の南東への張り出しがやや強い時期があり、アリューシャン低気圧は西側で強い。**冬型の気圧配置が強まる時期がある**見込み。

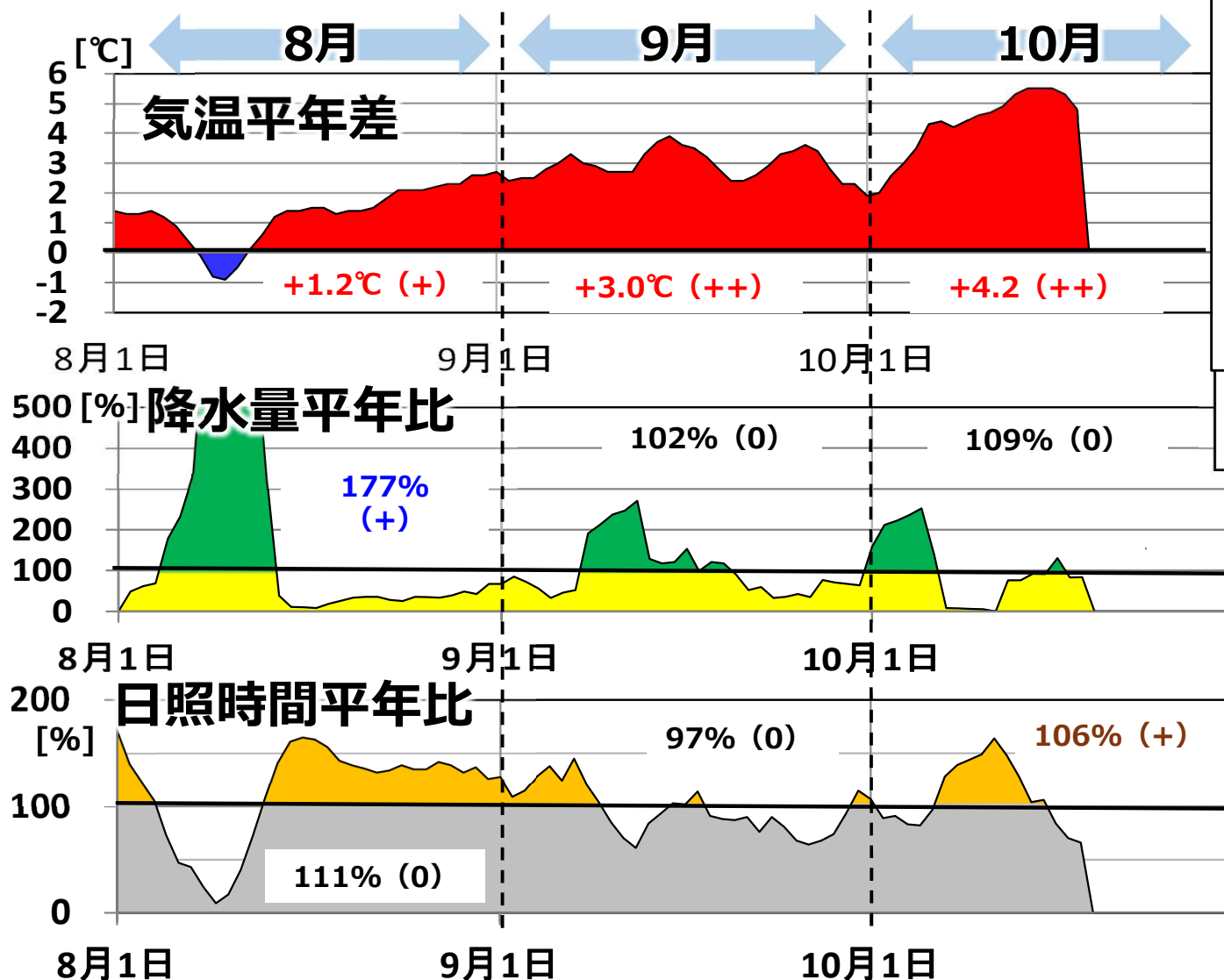
⇒12月以降は、
北よりの季節風が強い

- 12月以降、冬型の気圧配置が強まる時期があり、**低気圧の影響を受けにくい**。

【熱帯域の海面水温と対流活動】

- 海面水温は、ラニーニャ現象に近い状態が続く。太平洋熱帯域西部とインド洋熱帯域東部で高く、太平洋熱帯域中・東部とインド洋熱帯域西部で低い。
- 積乱雲の発生が、インド洋東部～フィリピン付近で多く、インド洋西部と日付変更線付近で少ない。

九州北部地方の天候経過 (8~10月)



数値は月平年差 (比) ・ 階級区分値

10月の値は20日までの暫定値

グラフは5日移動平均値でプロット

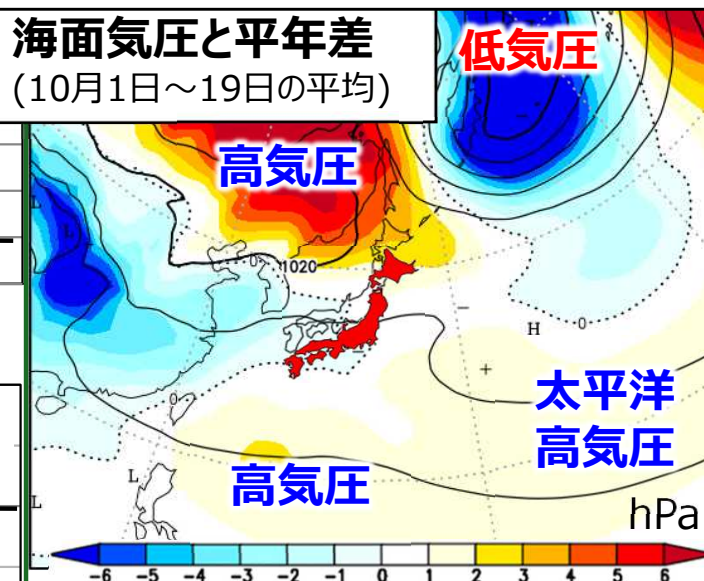
階級区分値

- (++) : かなり高い/かなり多い
- (+) : 高い/多い
- (0) : 平年並
- (-) : 低い/少ない
- (--) : かなり低い/かなり少ない

高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、上旬には低気圧や前線の影響で大雨となった所があり、**長崎県厳原では3日に日降水量が10月としての多い方からの極値**となった。このため、この期間の降水量は平年を上回った。
気温は、暖かい空気に覆われやすく、南から暖かい空気が流れ込んだ時期もあったため、平年を上回り、**上旬・中旬の旬平均気温は1946年の統計開始以降で10月上旬・中旬として1位を更新する高温**となった。日照時間は平年を上回った。

海面気圧と平年差

(10月1日~19日の平均)



大陸のシベリア高気圧の張り出しが強く、カムチャツカ半島~アリューシャン付近で低気圧が発達し、北日本中心で西高東低の気圧配置となった。また、沖縄の南では高気圧の張り出しが強い。九州は、高気圧に覆われることが多かったが、南北の高気圧の気圧の谷となる日もあり、暖かく湿った空気が流れ込み、ひと雨が多かった。

3か月予報のまとめ（2025年11月～2026年1月）



予報のポイント

- 期間の**はじめ**を中心に**暖かい空気に覆われやすい**ため、向こう3か月の**気温は平年並か高い**でしょう。
- 期間の**後半**を中心に**低気圧の影響を受けにくい時期がある**ため、向こう3か月の**降水量は平年並か少ない**でしょう。

留意していただきたいこと

- 11月は気温が高く、秋の深まりといった季節進行が遅いでしょう。
- 12月以降は、ほぼ平年の冬となり、秋の終わってから初冬にかけて季節進行が急に進み、**平年よりも気温の下降が大きく感じられる**でしょう。体調管理等に注意してください。また、**冬型の気圧配置が強まる時期もある**見込みです。
- 最新の予報・気象情報等に留意してください。



季節進行の進み具合は、毎日発表している2週間気温予報でチェックできますのでご活用ください。
次回の3か月予報（12～2月）の発表日は、11月25日（火）です。

季節予報に関するお問い合わせ先
福岡管区気象台予報課（092-725-3604）

補助資料

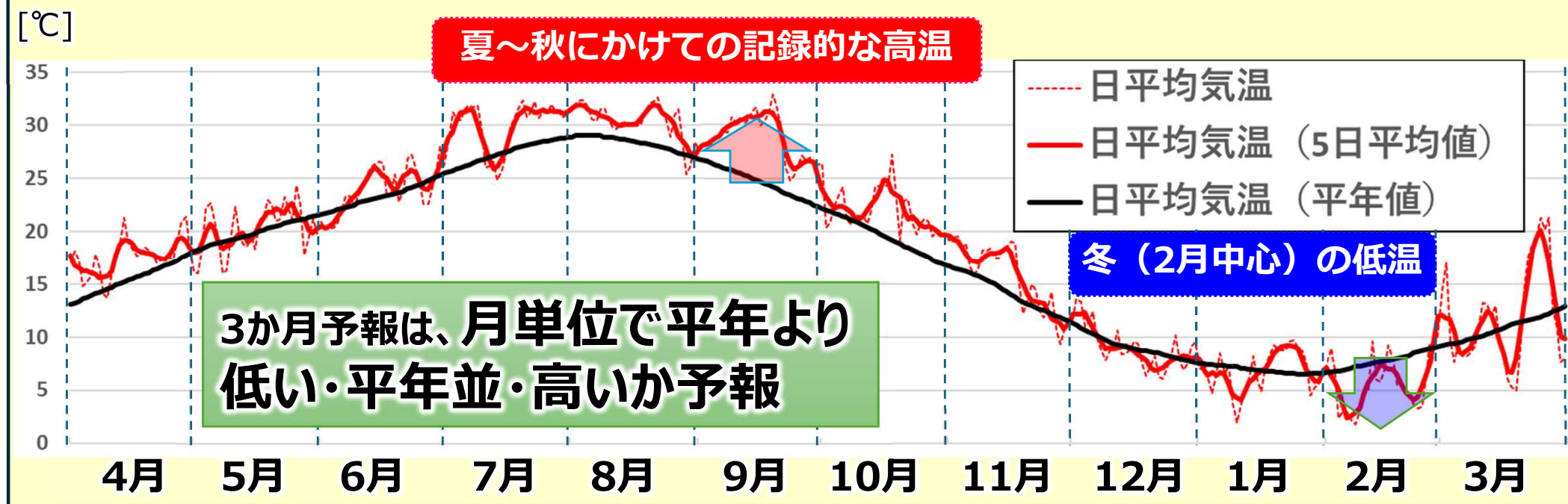
季節予報（3か月予報等）概要



季節予報

- ・ 時間・空間スケールの大きい現象に着目
- ・ **平年の天候からの偏り**を予報
- ・ 各種産業・早めの防災・健康管理への活用期待

【例】日平均気温（福岡）の推移（2024年度）



3か月予報

予報期間（向こう3か月）の天候（気温・降水量）を月・地方単位で確率を用いて予報

11～1月

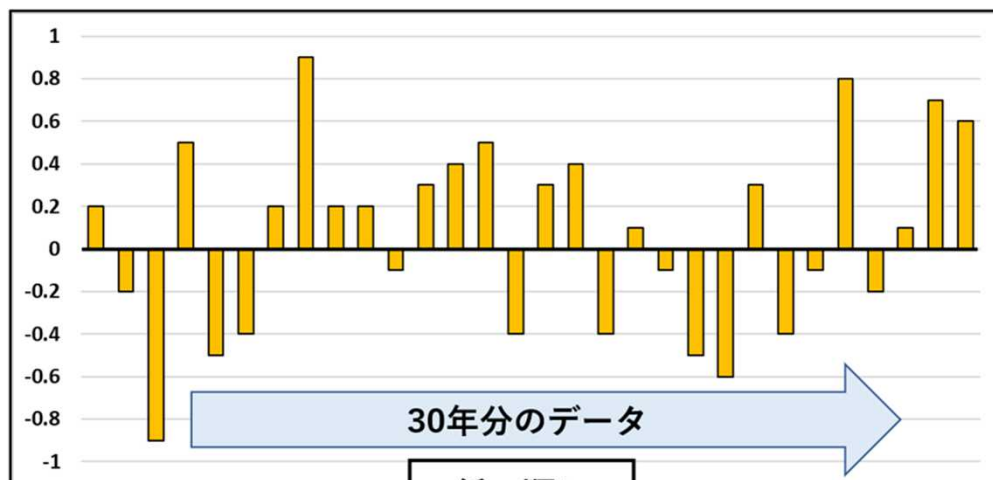
九州北部地方

低い・平年並・高い確率〇〇%

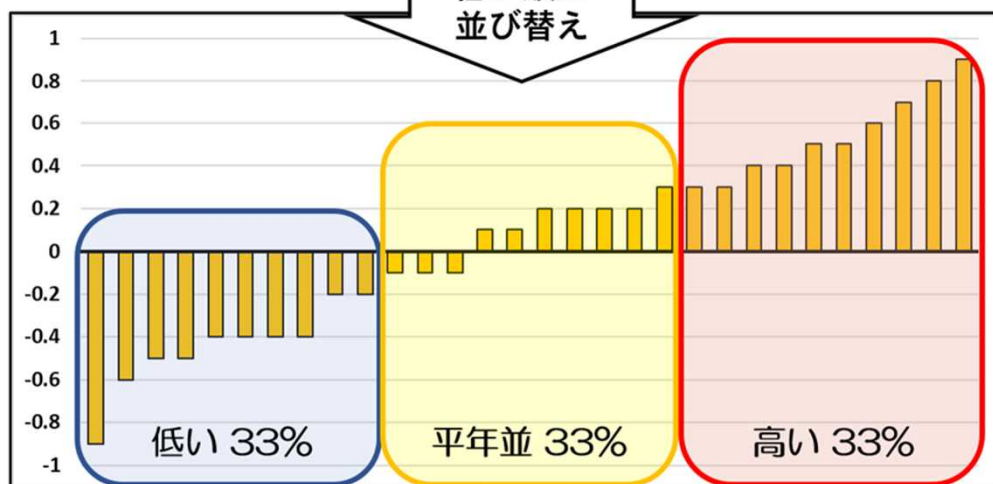
- 季節予報は、平年の気候と比べて、どのくらい偏った天候が予想されるかという予報です。
- 基準となる平年の気候は、1991～2020年の30年間の平均としています（10年毎に更新）。
- この30年分の気温を小さい順に並べて、下から10年を「低い」、上から10年を「高い」、真ん中の10年を「平年並」という階級で表わします（次頁を参照）。
- 季節予報では、この3つの階級それぞれに予想される確率を予報します。

平年並の範囲と確率予報

平年並の範囲の求め方



低い順に
並び替え



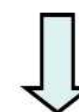
この例では「平年並」の範囲は $-0.1^{\circ}\text{C} \sim +0.3^{\circ}\text{C}$

3 階級の確率予報

季節予報では、左のように求めた平年並の範囲に入る可能性、上回る可能性および下回る可能性の予報を確率として表現しています。

現在が平年値期間の30年と同じ気候だとした場合、「高い」「平年並」「低い」という階級になる可能性＝気候的出現率は33%となります。今回の予報が、この気候的出現率と比較して、どれくらい数値が大きい／小さいかを見ることが基本となります。

気候的出現率



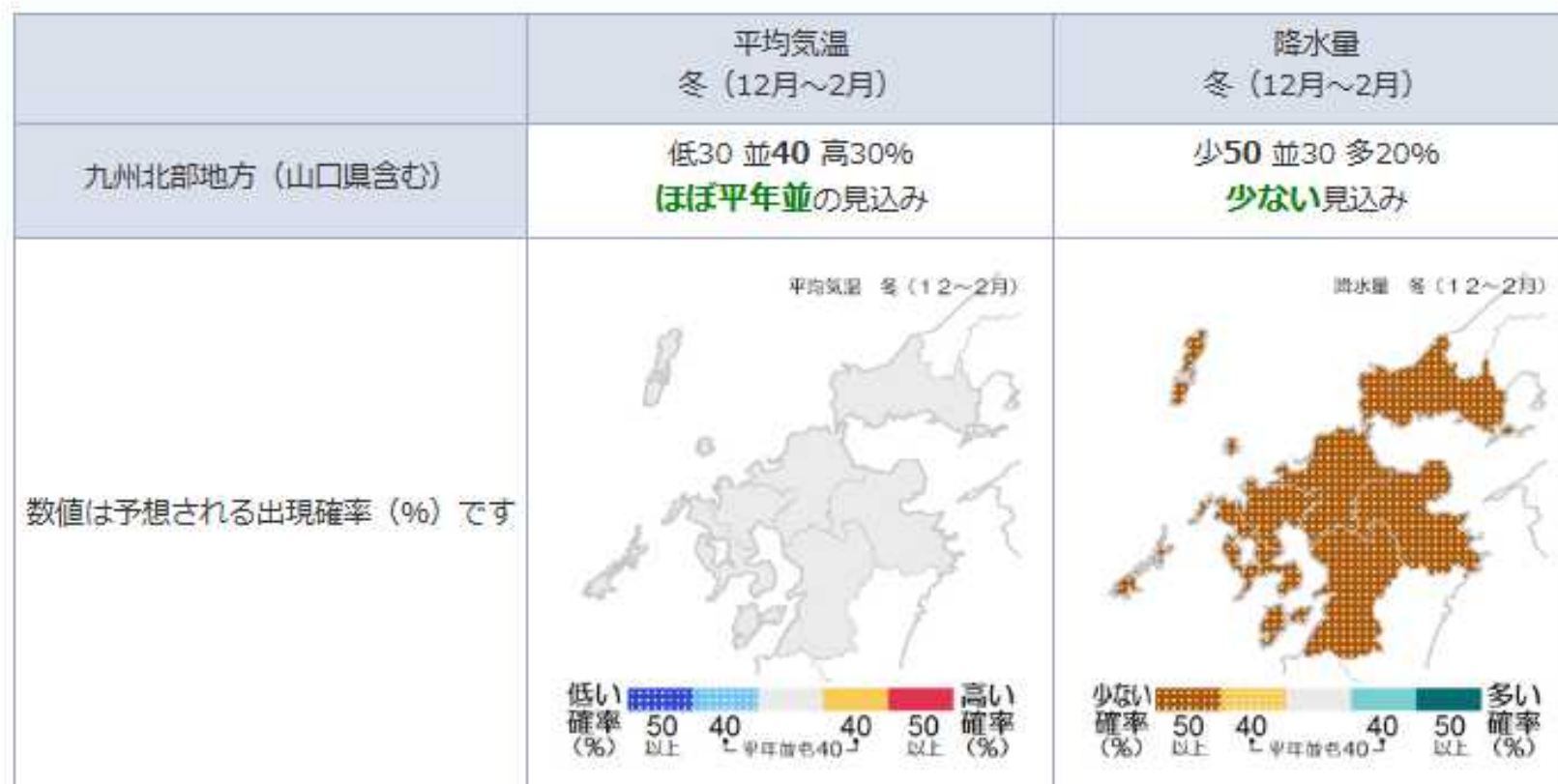
ある予報



予報のポイント

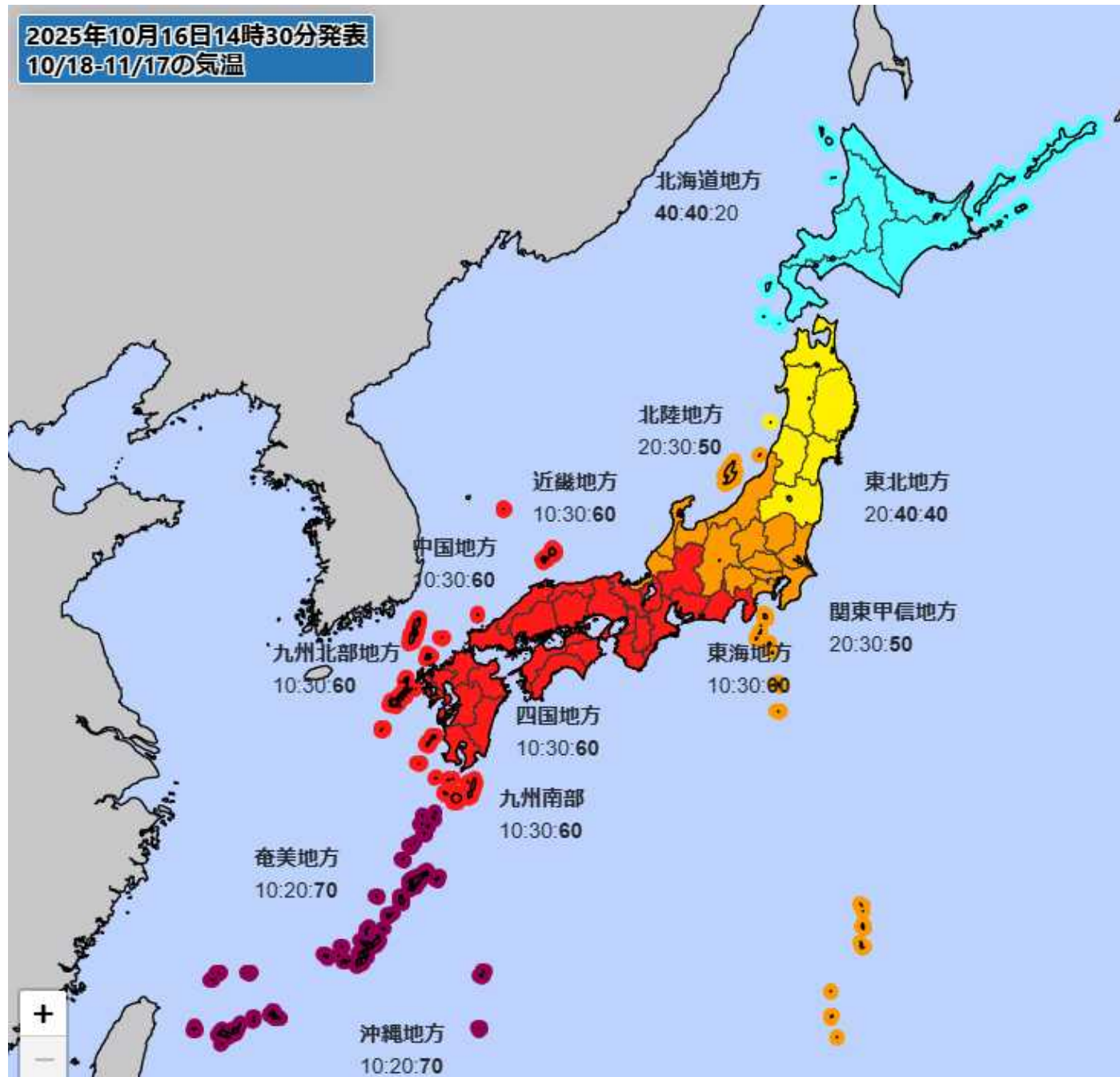
冬の気温は、ほぼ平年並でしょう。

冬の降水量は、低気圧の影響を受けにくいいため、少ないでしょう。

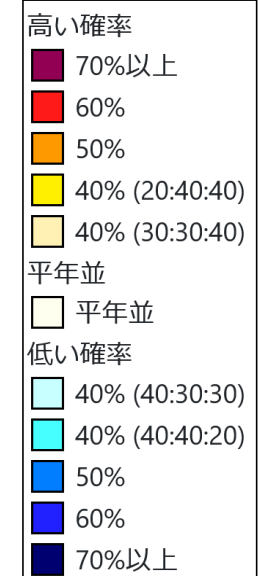


季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。
「平年並」がどの程度の値になるのかについては、参考資料（<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/kyuhoku6.html>）をご覧ください。
文章による解説については、確率の大きさに応じた言葉で表現しています。詳しくは本資料末尾の「参考（確率予報の解説）」をご覧ください。

全国 1か月予報 10/16発表 (気温)



凡例



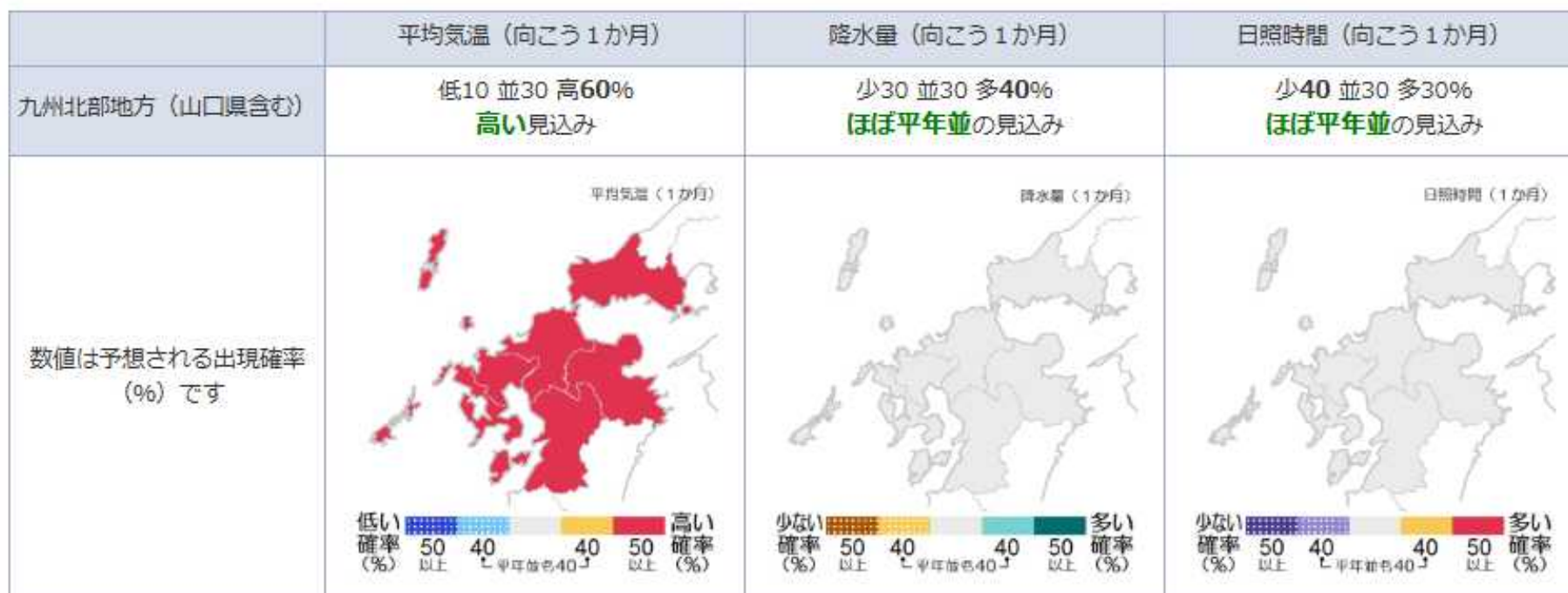
特に注意を要する事項

期間のはじめは気温がかなり高くなる見込みです。

予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすいため、向こう 1 か月の気温は高いでしょう。期間のはじめは気温がかなり高くなる見込みです。
- 向こう1か月の天候は、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう 1 か月の平均気温・降水量・日照時間



九州北部地方 1 か月予報（週別） 10/16発表



週別の天候と平均気温

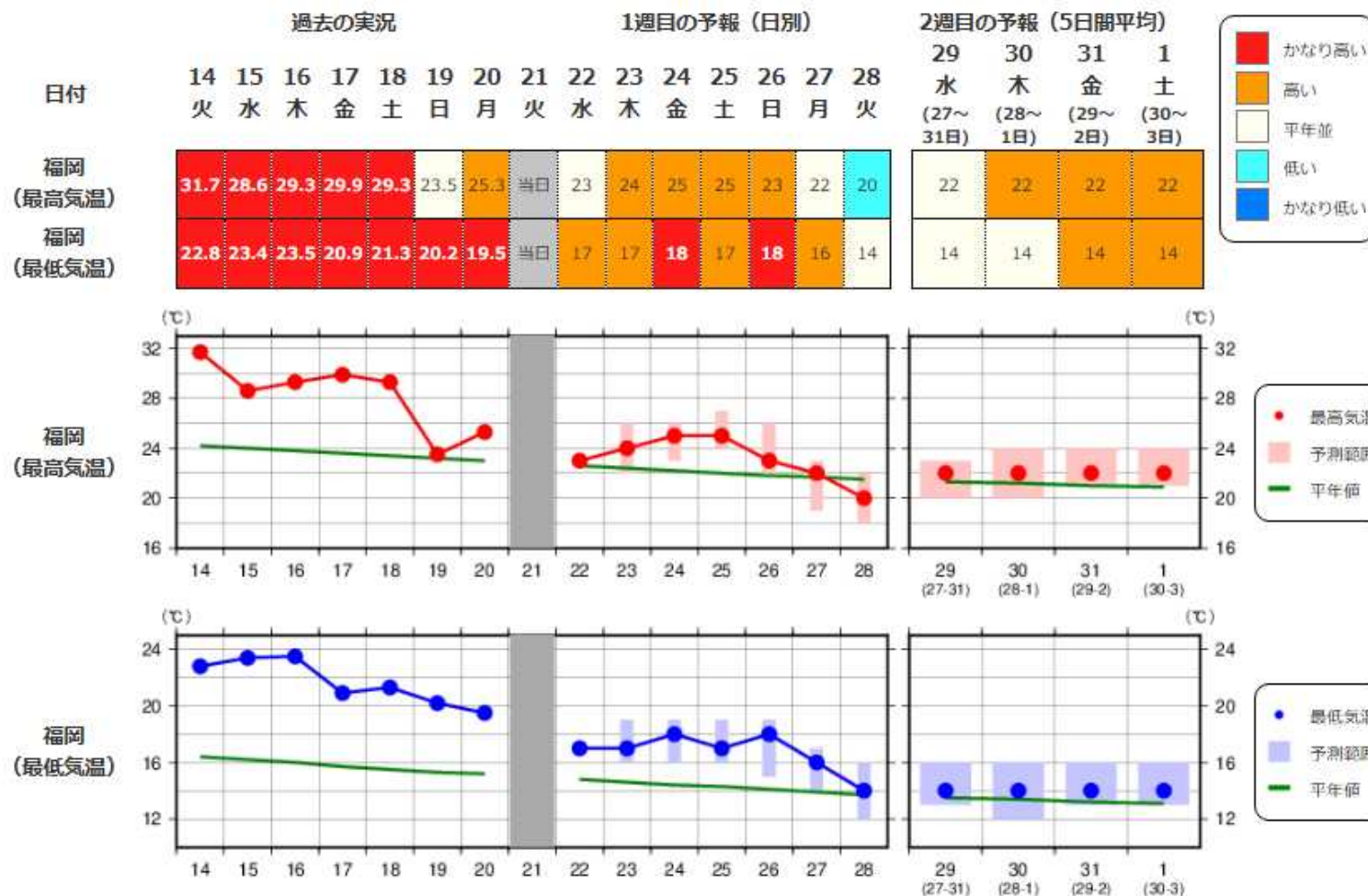
		1週目 10/18～10/24	2週目 10/25～10/31	3～4週目 11/1～11/14
天候		天気は数日の周期で変わるでしょう。	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
平均気温	九州北部地方 (山口県含む)	低10 並20 高70% 高い見込み	低10 並30 高60% 高い見込み	低20 並30 高50% 高い見込み
	数値は予想される出現確率(%)です	平均気温(1週目) 低い確率(%) 50 40 40 50 高い確率(%) 平年値も40以上	平均気温(2週目) 低い確率(%) 50 40 40 50 高い確率(%) 平年値も40以上	平均気温(3～4週目) 低い確率(%) 50 40 40 50 高い確率(%) 平年値も40以上

福岡県の2週間気温予報 (10/21 11時更新)

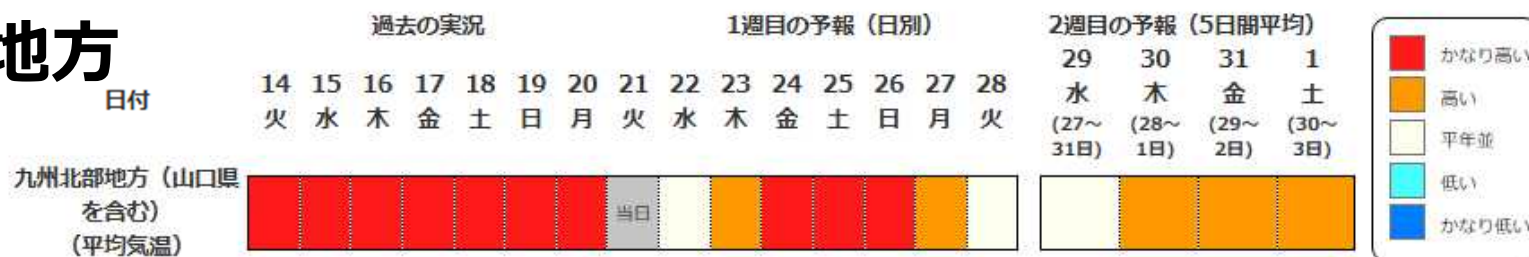
毎日14時30分発表



福岡



九州北部地方



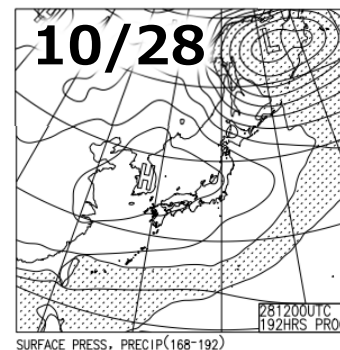
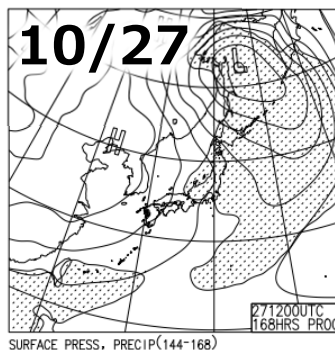
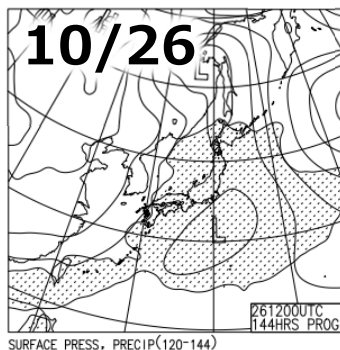
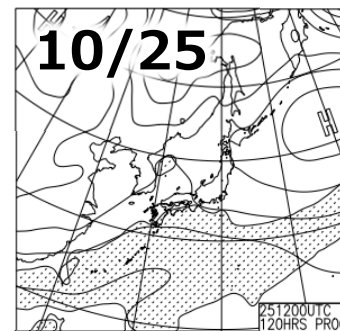
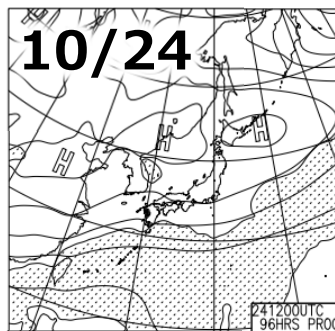
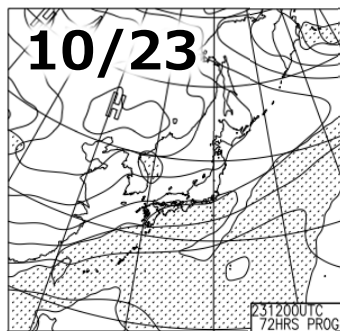
福岡県の週間天気予報と予想天気図 (10/21 11時発表)



福岡県の天気予報 (7日先まで)

2025年10月21日11時 福岡管区气象台 発表

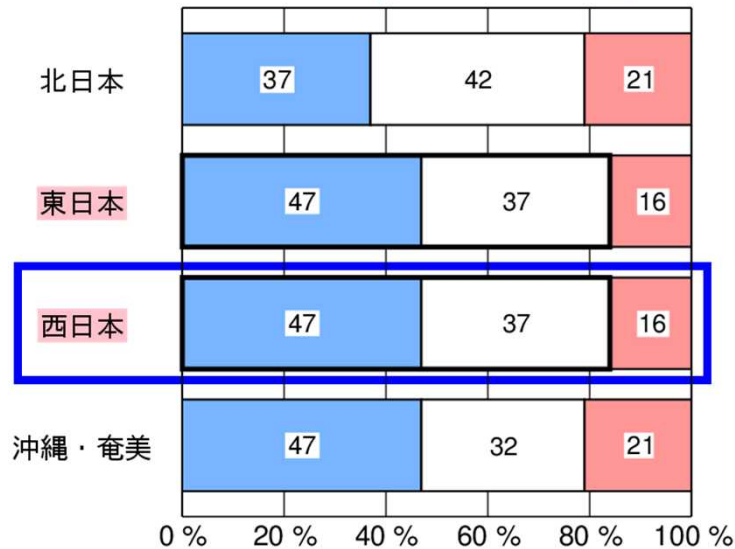
日付	今日 21日(火)	明日 22日(水)	明後日 23日(木)	24日(金)	25日(土)	26日(日)	27日(月)	28日(火)
福岡県	曇 	曇後晴 	晴時々曇 	晴時々曇 	曇時々晴 	曇 	曇時々晴 	晴時々曇
降水確率(%)	-/-/10/20	30/10/0/0	20	20	30	40	30	20
信頼度	-	-	-	A	A	C	A	A
福岡 気温 (℃)	最高	23	23	24 (22~26)	25 (23~26)	25 (24~27)	23 (22~26)	22 (19~23)
	最低	-	17	17 (16~19)	18 (16~19)	17 (16~19)	18 (15~19)	16 (14~17)



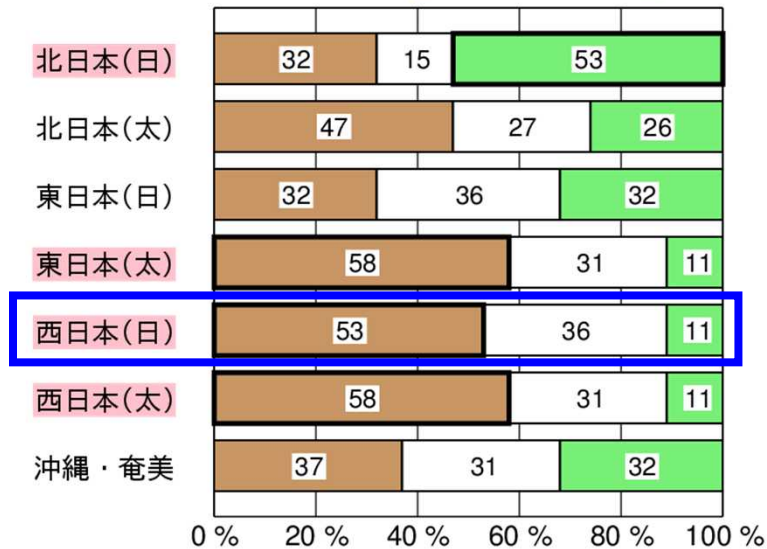
気象庁HP https://www.jma.go.jp/bosai/forecast/#area_type=offices&area_code=400000
 予想天気図 <https://www.jma.go.jp/bosai/numericmap/data/nwpmmap/fefe19.png>

ラニーニャ現象時の統計（11～1月）

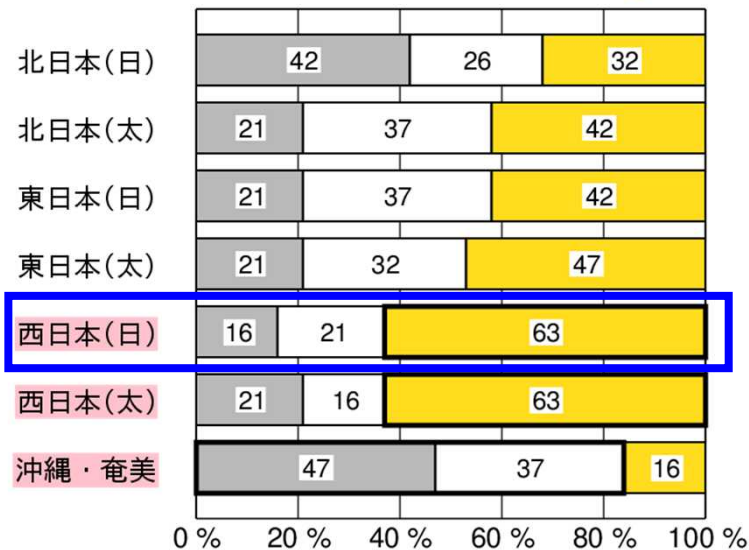
ラニーニャ現象が発生しているときの
平均気温 <11～1月> 低い 並 高い



ラニーニャ現象が発生しているときの
降水量 <11～1月> 少ない 並 多い



ラニーニャ現象が発生しているときの
日照時間 <11～1月> 少ない 並 多い

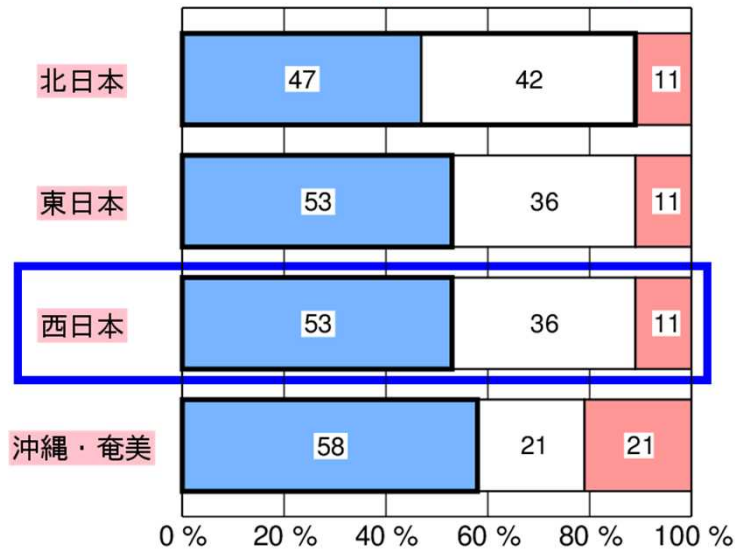


**気温は低い、
降水量は少ない、
日照時間は多い傾向**

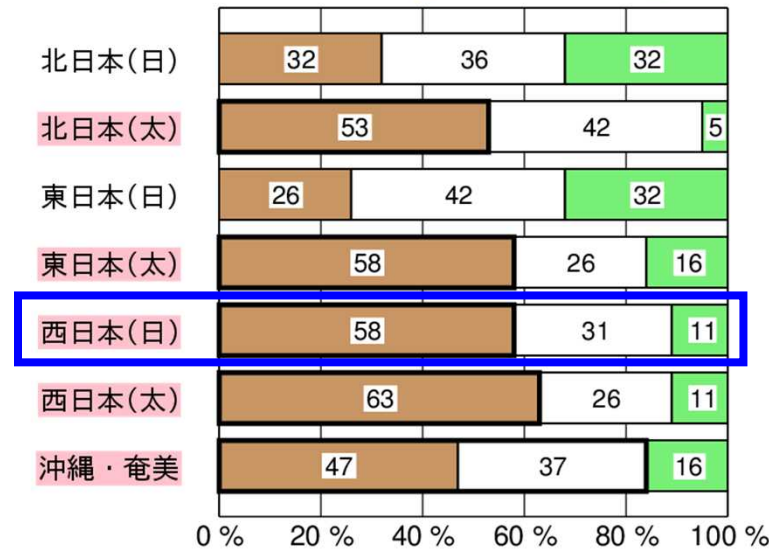
※統計的に優位な傾向がある場合は、
地域名に**赤い帯**、棒グラフに**太黒枠**を示す。

西太平洋熱帯域の海面水温が高温時の統計（11～1月）

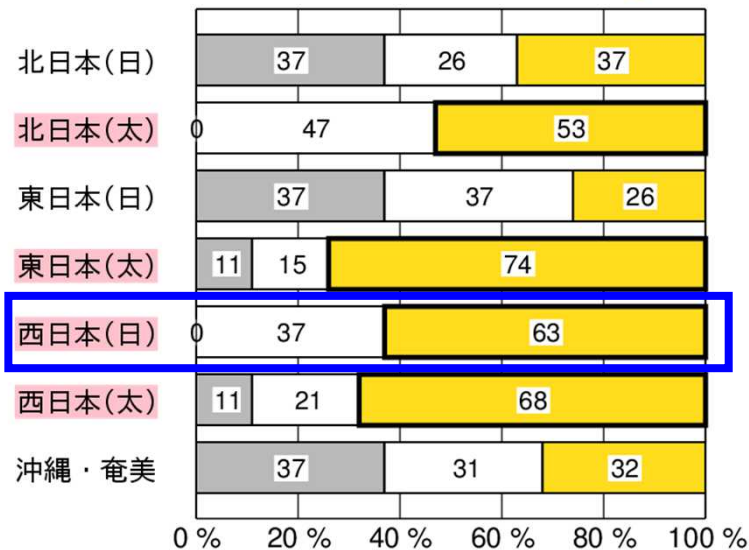
西太平洋熱帯域の海面水温が高温のときの
平均気温 <11～1月> 低い 並 高い



西太平洋熱帯域の海面水温が高温のときの
降水量 <11～1月> 少ない 並 多い



西太平洋熱帯域の海面水温が高温のときの
日照時間 <11～1月> 少ない 並 多い



**気温は低い、
降水量は少ない、
日照時間は多い傾向**

※統計的に優位な傾向がある場合は、
地域名に**赤い帯**、棒グラフに**太黒枠**を示す。